平成３０年度　広島県農村環境情報協議会（第１回）

　意見照会

１　日　　時　　平成３０年１０月９日（火）～１０月１９日（金）

２　方　　法　　資料を各委員に送付し書面による意見照会を実施

３　意見照会先（委員）　前川委員長，実岡委員，水田委員，瀬川委員，三好委員，若宮委員

４　対象地区

　　田口地区　　庄原市口和町　　　区画整理10.0ha（暗渠排水7.0ha）

　　黒木谷地区　神石高原町階見　　区画整理 2.5ha（暗渠排水・土壌改良1.4ha）

５　主な意見

（１）田口地区（区画整理）について

　　○ツキノワグマについては保護に配慮する状況にない。主にドジョウ，アカハライモリ，及びシャジクモへの配慮について慎重に対策を講じられることを望む。

　　○用排水路ともに老朽化が進んでおり，重要な工事と考えられる。

　　○環境に配慮された計画になっている。

　　○今後の参考のために移動・移植の成果を確認されることが望ましい。

　　○地域の環境保全には住民自らの意識高揚と啓発が不可避である。

（２）黒木谷地区（区画整理）について

　　○環境に配慮された計画になっている。

　　○ガムシ以下の種類は絶滅～減少するであろうが周辺部に生息するのでやむをえないと思われる。

　　○地区内の減少だけでなく，地区外も含めて影響を考えていくことで地域レベルでの生態等の課題はクリアできていくと思われる。

（３）その他

　　○西日本豪雨災害を踏まえて，ため池の決壊にイノシシの存在が指摘されている話しも耳にするが，保護と駆除はバランスを考えるうえで一緒に議論する場も必要ではないだろうか。

　　○自然災害の多い昨今，ため池等，安全性について再度見直し検討が必要と思われる。未来を見据えた検討会が必要である。